

平成28年3月 第1回定例会

平成28年度予算案を可決

平塚市議会は、2月18日から3月17日まで、29日間の会期で3月定例会を開催しました。

今定例会では、市長提出議案として、総額1858億9310万円となる平成28年度予算に関する議案、条例の制定や一部改正、平成27年度補正予算、人事案件など、43案件が提出され、審議の結果、全ての議案を原案どおり可決、同意しました。また、最終日に議員から提出した会議案1件の意見書は、全会一致で可決しました。

※議案と審議の結果は8面に掲載しています。

3月定例会では、平成28年度の一般会計、特別会計、企業会計の予算を可決しました。一般会計は822億5千万円、特別会計は73億1310万円、病院事業と下水道事業を合わせた企業会計は303億3千万円の規模となり、総額では1858億9310万円となりました。これは前年度より33億8420万円、1.9%の増額です。

当初予算は、次期平塚市

総合計画の推進、行財政改革への取り組み、財源の積極的な確保、公共施設等の総合管理を4つの基本方針に定め、関連する事業を中心に編成されています。市税の減少見込み、少子高齢化の進展に伴う扶助費の増加など財政状況は厳しいものの、自主財源の充実、国や県の補助制度の活用、事務事業の見直しにより、効率的・効果的な財政運営が図られています。

一般会計は、ツインシティ整備推進事業や消防指令センターの1市2町共同整備などへの増額、環境事業センター整備に係る市債の元金償還が本格的に始まることによる公債費の増額などから、全体では前年度より14億円、1.7%の増額となっています。本会議の質疑では、持続

可能な行財政運営の展開に向けた考え方、就労支援や地域経済の活性化策、子供を産み育てやすい環境づくりや子育て支援策、地域福祉の在り方や高齢者施策などがありました。

最終日には、全会派と無所属議員が一般会計予算に対し、賛成、反対の立場から討論を行いました。(討論の要旨は7面に掲載)

可決した主な議案

行政不服審査条例を制定

行政不服審査法の全部改正に伴い、平塚市行政不服審査会の組織及び運営並びに審理手続きにおける提出資料の写しなどの交付に関する規定を制定しました。審理員による審理の導入、第三者機関による審査の判断に対する妥当性のチェック、審査請求期間の延長が位置

介護サービスに関する条例の規定を整備

介護保険法の改正に伴い、4月から袖ヶ浜デイサービスセンターで新しい総合事業としての予防通所介護を実施します。これに当たり、条例の規定を整備しました。

人事案件に同意

任期満了を迎える監査委員の選任と人権擁護委員の推薦について、2案件の議案が提出され、各氏とも全員異議なく同意しました。

国民健康保険条例の一部改正

今回の条例改正で国民健康保険税の税率が改定されます。これは保険給付費の

人権擁護委員

金子みどり氏(岡崎)

議会が目指す・28年度予算の主な事業

強みを活かしたしごとづくり

- 漁港の右岸導流堤の改修工事……………1億円
- 中心商店街の滞留拠点づくり、店舗改装費の補助……………120万円
- ツインシティの整備推進……………10億3709万円



子どもを産み育てやすい環境づくり

- 小児医療費の助成対象を拡大……………1億2448万円
- 妊婦健康診査の補助額を増額……………2499万円
- 全小学校の図書室や音楽室にエアコンを設置……………1796万円



高齢者がいきいきと暮らすまちづくり

- 介護予防に関する知識の普及・啓発……………2344万円
- 介護予防・生活支援サービスの実施……………2億6835万円
- がんの早期発見・早期治療の促進……………39万円



安心・安全に暮らせるまちづくり

- 消防指令センターの共同整備……………7億5101万円
- 自転車通行帯の整備……………3250万円
- 橋りょうの耐震補強……………1億3250万円

主な内容

代表質問	2・3面
総括質問	4~6面
清風クラブ	2・4
野崎審也 片倉章博 須藤量久	
黒部栄三	
公明ひらつか	2・5
永田美典 小笠原千恵美 鈴木晴男	
湘南フォーラム	3・5
内堀祐一 出村 光	
平塚創生会	3・5
金子修一 柏木 徹	
日本共産党平塚市議会議員団	3・6
高山和義 松本敏子	
無所属	6
江口友子 端 文昭 府川 勝	
常任委員会の審査概要	6・7面

四季折々の花々があふれる「花菜ガーデン」。5月にはバラや春のワイルドフラワーが見頃を迎えます。

